

モアレが出るデータと対策

① アンチエイリアスによるモアレ



網点の周囲にぼかしがかかっていると高確率でモアレが出る事があります
網点作成後に拡大、縮小や解像度の変更は行わないで下さい。
保存時も圧縮はかけずにバイナリで保存して下さい。
(グレースケールのデータでも網点を使用している場合はバイナリで保存して下さい。)
<http://www.shippo.co.jp/neko/making/digital.shtml#1c>

網点が黒100%のみで作られていればモアレは発生しにくくなります。

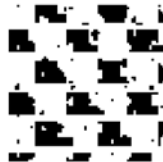


総集編等で縮小が必要な場合は画像解像度の画像の再サンプルのチェックを外して
サイズを変更するとモアレを軽減出来ます。
また入稿時にFM印刷希望の旨をお伝え下さい。

コミックスタジオの場合はグレーで書き出さずにモノクロ二階調で書き出して下さい。
<http://www.shippo.co.jp/neko/info/comista4.shtml>

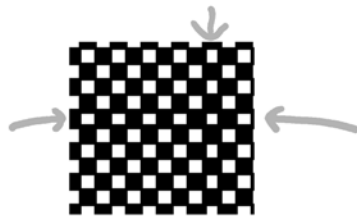
すでにアンチエイリアスがかかったデータで修正する事が出来ない場合は
FMスクリーニング印刷で回避、軽減する事が出来ます。
入稿時にFM印刷希望の旨をお伝え下さい。

② 網点が崩れていて発生するモアレ



網点が黒100%で作られていても点の形が崩れている為に発生するモアレです。
この場合はFM印刷でも回避、軽減することが出来ません。
原因として考えられるのはカラーデータやアンチエイリアスがかかった網点を後から
二階調にしたような場合です。

③ 網点の大きさが一部だけ小さい(大きい)場合



一部だけ点が小さい為に印刷しますとこの部分に線が入ったように見えてしまいます。
トーン素材を使った場合や素材を繋ぎ合わせた部分に出る事があります。
この場合はFM印刷でも回避、軽減することが出来ません。

④ 作成時に角度の違うトーンを重ねた場合

この場合はアナログ原稿と同様にそのままモアレが発生します。回避出来ません。
重ねる角度によって出方が異なります。

⑤ 網点の線数が細かすぎる

漫画のスクリーントーンのような仕上がりを希望される場合は高くても80線以下にして下さい。
それ以上の線数を希望される場合はグレースケールの塗りのまま入稿していただいた方が
仕上がりが綺麗です。
線数が低いとアンチエイリアスがかかってもモアレが出にくいです。

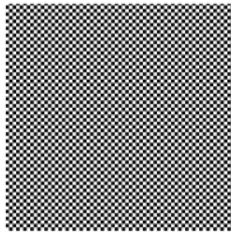
AMスクリーニング

グレースケールデータの濃度1~99%の部分を高解像度で1インチあたり150線(弊社の線数です)の網点に分解して印刷します。

網点の周囲のアンチエイリアス部分がさらに網点に分解される事で網点と網点の重ね合わせによりモアレになる場合があります。

0%の白と100%の黒はデータ通りに再現されます。

個人的な感想になりますがグレースケール塗りの再現が綺麗です。



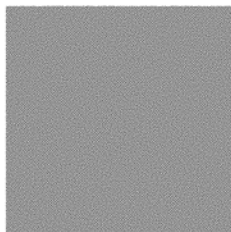
FMスクリーニング

グレースケールデータの濃度1~99%の部分を高解像度で非常に細かい点の数、密度で再現します。細部の再現性に優れています。

網点の周囲のアンチエイリアス部分は細かい点で再現される為にデータの見た目に近づける事が出来ます。

面積の広いグレーの塗りつぶし等では印刷するとザラっとしたような感じになったり色ムラのようにもなります。

上質紙の中でも凹凸のある紙では明るい部分が飛びやすく、暗い部分はつぶれやすくなります。



画像はAMもFMも同じ比率で拡大したもので実際の印刷とは異なります。

モノクロ二階調は0%と100%しかないのでAMもFMも仕上がりは変わりません。

グレースケールでも中間の濃度を使っていなければ同じです。

有限会社
ねこのしっぽ

〒211-0001 神奈川県川崎市中原区上丸子八幡町816

TEL 044-430-3767

<http://shippo.co.jp/neko/>